

汐入小学校3年生の授業

汐入小学校3年生は、フィールドワークでは、汐入5丁目の丘を歩き、身近な場所での自然の発見を楽しみました。座学では、自分たちが見た草木や昆虫の結びつきから生態系について学びました。また、モチノキの葉の笛遊びを体験しました。

令和5年度の実績

以下の日程で専門家の講師が授業を行いました。

- 授業「学区の自然を体験しよう」
フィールドワーク：令和5年6月21日(水曜日)
座学：令和5年6月28日(水曜日)

授業「学区の自然を体験しよう」

フィールドワーク

- 実施日：令和5年6月21日（水曜日）
- 内容：講師はコンクリートで地面を覆うことにより熱がこもってしまうため、都市の気温が上がるヒートアイランド現象の説明をしました。また、コンクリートで覆われていない土手に、草が生え、その草を餌とするバッタが住んでいること、鳥がタブの実を食べて種をフンで運ぶことにより、分布を広げられることを話し、植物と昆虫、鳥のつながりを示しました。また、谷戸に降りて、谷戸地形の説明もしました。



座学

- 実施日：令和5年6月28日（水曜日）
- 内容：汐入小学校近辺の今と昔の地図を対比させながら、汐入の都会にありながら緑の多い地形を説明しました。また、土手に生えていた植物とそれを食べる昆虫について説明し、生物が違うものを食べることによりうまく共存していることを話しました。

講師はモチノキの葉を持ってきて、生徒に葉笛の作り方と鳴らし方を説明しました。生徒たちは熱心に、自然のものを使った遊びを体験しました。

